

1 修正内容

No.	項目	頁	内容
1	2 地域コミュニティをめぐる現状 (9)地域コミュニティの成り立ち等 ①鶴岡地域 ●コミュニティの成り立ち 2行目～6行目	19	(修正前) 明治22年の市制町村制施行において、はじめて自治体としての鶴岡町が誕生しました。 <del>その後、</del> 大正7年に稲生村、大正9年に大宝寺村を合併し、大正13年に鶴岡市となりました。さらに、昭和30年4月に、隣接する齋村、黄金村、湯田川村、大泉村、京田村及び栄村の6村が、7月に田川村、上郷村、豊浦村及び加茂町の1町3村が合併し、昭和38年8月に大山町が合併して旧鶴岡市を形成してきました。 (修正後) …明治22年の市制町村制施行において、はじめて自治体としての鶴岡町が誕生しました。大正7年に稲生村、大正9年に大宝寺村を合併し、大正13年に鶴岡市となりました。さらに、昭和30年4月に、隣接する齋村、黄金村、湯田川村、大泉村、京田村及び栄村の6村が、7月に田川村、上郷村、豊浦村及び加茂町の1町3村が合併し、昭和38年8月に大山町が合併して旧鶴岡市を形成してきました。 <u>その後、平成17年10月1日に1市4町1村が合併し現在に至っています。</u>
2	2 地域コミュニティをめぐる現状 (9)地域コミュニティの成り立ち等 ②藤島地域 ●コミュニティの成り立ち 3行目～13行目	20	(修正前) 旧藤島町を形成してきました。 <u>その経過から、これまで旧藤島・東栄・八栄島・長沼・渡前村単位に地区公民館を設置し、生涯学習活動を中心とした地域活動に取り組んでいましたが、平成26年4月より各地区とも新たに地域活動センターに移行…</u> (修正後) …藤島町を形成してきました。 <u>その後、平成17年10月1日に1市4町1村が合併し現在に至っています。</u> また、地区公民館は、藤島・東栄・八栄島・長沼・渡前村単位に設置され、生涯学習活動を中心として地域活動に取り組んできました。 平成25年3月、市は「鶴岡市地域コミュニティ基本方針」で、人口減少や高齢化の進行に伴い単位自治組織の機能の縮小傾向が予測されることなどから、小学校区、地区公民館等の区域を単位とした広域的なコミュニティ組織づくりの推進と、地区公民館の広域コミュニティ組織が管理する総合的な地域活動の拠点施設「地域活動センター」への再編の方向性を示しました。 これを受けて、藤島地域では平成25年度に地区公民館の区域ごとに広域コミュニティ組織（自治振興会）が設立され、平成26年4月より地区公民館を地域活動センターに移行…

3	<p>2 地域コミュニティをめぐる現状 (9) 地域コミュニティの成り立ち等</p> <p>③羽黒地域</p> <p>●コミュニティの成り立ち 3 行目</p>	21	<p>(修正前) …3 村が合併して羽黒町となり、その後、平成 17 年 10 月 1 日に<u>鶴岡市</u>と合併し現在に至っています。</p> <p>(修正後) …3 村が合併して羽黒町となり、その後、平成 17 年 10 月 1 日に<u>1 市 4 町 1 村</u>が合併し現在に至っています。</p>
4	<p>2 地域コミュニティをめぐる現状 (9) 地域コミュニティの成り立ち等</p> <p>⑤櫛引地域</p> <p>●コミュニティの成り立ち 1 行目～3 行目</p>	22	<p>(修正前) 昭和 29 年 12 月、山添村と黒川村が合併し櫛引村となりました。昭和 31 年 1 月、鶴岡市大字勝福寺の一部(三千刈地区)を編入し、昭和 41 年 12 月には町制を施行し櫛引町となりました。</p> <p>(修正後) 昭和 29 年 12 月、山添村と黒川村が合併し櫛引村となりました。昭和 31 年 1 月、鶴岡市大字勝福寺の一部(三千刈地区)を編入し、昭和 41 年 12 月には町制を施行し櫛引町となりました。<u>その後、平成 17 年 10 月 1 日に 1 市 4 町 1 村が合併し現在に至っています。</u></p>
5	<p>2 地域コミュニティをめぐる現状 (9) 地域コミュニティの成り立ち等</p> <p>⑤朝日地域</p> <p>●コミュニティの成り立ち 2 行目～3 行目 9 行目～20 行目</p>	23	<p>(修正前) …3 村が合併し、朝日村が誕生しました。…</p> <p>…平成 7 年には、8 つの公民館が 3 地区公民館 (<u>中部南部・東部</u>) に再編されました。</p> <p>平成 27 年度より、3 地区公民館がコミュニティセンター (朝日中央・朝日南部・朝日東部) に移行して、<u>総合的な地域活動の拠点施設としてコミュニティ活動を担うこととなりました。</u>…</p> <p>(修正後) …3 村が合併し、朝日村が誕生しました。<u>その後、平成 17 年 10 月 1 日に 1 市 4 町 1 村が合併し現在に至っています。</u></p> <p>…平成 7 年には、8 つの公民館が 3 地区公民館 (<u>朝日中央・朝日南部・朝日東部</u>) に再編されました。</p> <p><u>平成 25 年 3 月、市は「鶴岡市地域コミュニティ基本方針」で、人口減少や高齢化の進行に伴い単位自治組織の機能の縮小傾向が予測されることなどから、小学校区、地区公民館等の区域を単位とした広域的なコミュニティ組織づくりの推進と、地区公民館の広域コミュニティ組織が管理する総合的な地域活動の拠点施設「コミュニティセンター」への再編の方向性を示しました。</u></p> <p><u>これを受けて、朝日地域では平成 26 年度に地区公民館の区域ごとに広域コミュニティ組織 (自治振興会) が設立されました。また、市は平成 27 年度より 3 地区公民館をコミュニティセンター (朝日中央・朝日南部・朝日東部) に移行し、以来、自治振興会は広域コミュニテ</u></p>

			イ活動を展開しています。…
6	<p>2 地域コミュニティをめぐる現状</p> <p>(9) 地域コミュニティの成り立ち等</p> <p>⑥ 温海地域</p> <p>● コミュニティの成り立ち</p> <p>2 行目～4 行目</p>	24	<p>(修正前)</p> <p>…明治 22 年の市制町村制施行により、それまでの 19 村が、温海村、念珠関村、福栄村の 3 村に合併し、その後、明治 25 年に温海村から山戸村が分離独立しました。昭和 13 年には旧温海村が温海町となり、昭和 29 年にそれら 1 町 3 村が合併し温海町となりました。…</p> <p>(修正後)</p> <p>…明治 22 年の市制町村制施行により、それまでの 19 村が、温海村、念珠関村、福栄村の 3 村に合併し、明治 25 年に温海村から山戸村が分離独立しました。昭和 13 年には旧温海村が温海町となり、昭和 29 年にそれら 1 町 3 村が合併し温海町となりました。<u>その後、平成 17 年 10 月 1 日に 1 市 4 町 1 村が合併し現在に至っています。</u></p>
7	<p>3 第 2 期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の評価</p> <p>(1) 地域課題と取組</p> <p>④ 櫛引地域</p> <p>計画の柱Ⅲ</p> <p>住民主体による地域課題解決力の向上</p> <p>評価</p> <p>1 行目～6 行目</p>	29	<p>(修正前)</p> <p>櫛引地域においては、<u>広域コミュニティ組織に準じて地区役員の役割や人数について見直しを行うなど</u>一定の効果がみられました。</p> <p>一方で、<u>役員の事務負担が大きくなりすぎてしまう</u>という課題がみられ、引き続き取り組んでいく必要があります。…</p> <p>(修正後)</p> <p>櫛引地域においては、<u>広域コミュニティ組織の設立に対する理解が十分に進んでいないという課題がみられました。</u>そこでワークショップ等を開催した結果、<u>参加した単位自治組織の役員間で、世代や地区を超えた意見交換が行われ、理解が深まるなど</u>一定の効果がありません。</p> <p>一方で、<u>役員やワークショップ参加者以外への理解の広がり</u>は十分でなく、引き続き取り組んでいく必要があります。…</p>
8	<p>5 地域課題と取組</p> <p>(1) 鶴岡地域</p> <p>⑤ 地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討</p> <p>2 行目～8 行目</p>	43	<p>(修正前)</p> <p>…コミュニティビジネスは、地域の課題をビジネスの手法で解決しながら、地域を活性化させる事業や取組です。<u>その分野は、住民ニーズはあるものの、行政や企業では対応が困難であった観光や福祉等多様な分野に渡ります。</u></p> <p>コミュニティビジネスは、<u>単に自主財源を得るという目的にとどまらず、自分の得意とする分野で活躍できる場を提供する</u>という点でも期待されます。</p> <p>また、<u>地域課題解決の持続的な取組となるほか、地域コミュニティの活性化や社会参画の場としての機能</u>などの効果も期待されることから、地域課題解決の方法の一つとして検討する必要があります。…</p> <p>(修正後)</p> <p>…コミュニティビジネスは、<u>地域住民が主体となり、地</u></p>

			<p>域の課題をビジネスの手法で解決しながら、地域を活性化させる事業や取組です。<u>こうした事業や取組</u>は、住民ニーズはあるものの、行政や企業では対応が困難であった観光や福祉等多様な分野に渡ります。</p> <p>また、コミュニティビジネスは、<u>自主財源の確保</u>や地域コミュニティの活性化、<u>住民の社会参画</u>の場としての機能などの効果も期待されることから、検討していく必要性があります。</p>
9	<p>7 計画の推進 (2)計画の推進 12行目</p>	74	<p>(修正前) …「鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会」において、<u>基本方針及び推進計画</u>に定められた事項のほか、本市地域コミュニティの…</p> <p>(修正後) …「鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会」において、<u>第3期鶴岡市地域コミュニティ推進計画</u>に定められた事項のほか、本市地域コミュニティの…</p>